

# やまぐちっ子学力向上だより

第 105 号 R2.1.30  
山口県教育庁義務教育課

## 山口県学力定着状況確認問題の結果について

10月23日を基準日として実施された山口県学力定着状況確認問題の結果を公表しました。

全体として、基礎的な内容を問う問題については、概ね成果や改善傾向が見られますが、基礎的・基本的な内容を活用して具体的な場面について考察する問題や、条件に沿って自分の考えや根拠等を記述する問題には依然として課題が見られました。各学校においては、児童生徒一人ひとりの学力を見取り進級・進学するまでに身に付けておきたい力を明確にして、全校体制で取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。なお、県全体の詳細な結果については、義務教育課 Web ページに掲載していますので御確認ください。（右 QR コード参照）



本号では、小学校の調査における特徴的な課題等について御紹介します。（中学校は次号掲載）

### ◆小学校平均正答率

	国語	算数	社会	理科
第4学年	59.1%	57.8%		
第5学年	57.4%	55.1%	57.3%	54.1%
第6学年	71.9%	51.5%		

		主な成果	主な課題
小学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な漢字を正しく使うこと</li> <li>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと</li> <li>●目的や意図に応じて自分の考えをまとめて書くこと</li> <li>●目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同分母分数の減法の計算をすること</li> <li>○数量の変化に着目して、その様子を表にまとめること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仮分数の大きさを単位分数のいくつ分で表すこと</li> <li>●比較量とその割合から、基準量を求めること</li> <li>●必要な数値を抽出して、値段の差がA店の値段の10%にあたることを式で表すこと</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スーパーマーケットの工夫について理解すること</li> <li>○昔の人々の使っていた道具を理解すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●等高線の名称を理解すること</li> <li>●日本の北方領土について理解すること</li> </ul>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物の重さについて、物の形や物自体の増減とを関連付けて理解すること</li> <li>○温度によって変わる水の姿を理解すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飛行機が飛ぶ距離について、一つの実験方法とは別の方法を考えること</li> <li>●星や星座の見た目の位置の変化について、推察すること</li> </ul>

国語 小学校4年生 ②五 正答率：19.4%

- 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことについて、課題が見られる。

林さんは、読み手に伝わりやすくするために、【図書室だより】の  の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には、「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましょう。

本を借りることが少なくなった理由の中に、「どんな本を読めばよいか分からない」という回答があったので、たくさんの本を読んでいる田中さんと古田さんに本の選び方について聞いてみました。

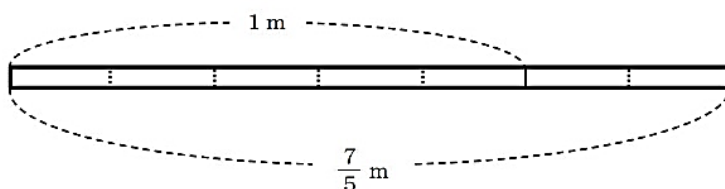
【正答】 ありました（。そこで、）たくさん

**学習のポイント：**提示されている文の伝わりにくさの原因を踏まえて、解決方法を考えることができるように指導することが大切です。伝わりにくさを解決するために必要な手立てを考え、推敲し合う活動を仕組みましょう。

算数 小学校4年生 ③(2) 正答率：32.9%

- 分数の意味を理解することに課題が見られる。

(2) 下のテープの長さは、 $\frac{7}{5}$  mです。 $\frac{7}{5}$  mは、何mの7つ分の長さですか。分数で答えましょう。



$\frac{7}{5}$  mは  m の7つ分

【正答】  $\frac{1}{5}$

**学習のポイント：**分数の学習では「1 mを5等分した長さは $\frac{1}{5}$  m」だけではなく、「 $\frac{1}{5}$  mの5つ分が1 m」のように捉えることが大切です。これは、中学校以降において数の世界を拓ける際の逆元の考え方にもつながります。

## プログラミング教育推進事業の研究発表について

11月に県内7地域でプログラミング教育推進事業における研究発表が行われました。総合的な学習の時間におけるプログラミングロボット(mBot)を使った実践や、教科におけるScratchを使った授業などが各校の実態にあわせて教育課程に位置付けられていました。これらの実践については、3月末までに全小学校教員に配付予定のリーフレットに実践事例として掲載します。次年度の教育課程の編成の参考にさせていただければと思います。

